

職場外での教育は、集中的に行われる。授業料は、職種や年により異なるが概ね200～800カナダドルであり、業界団体及び州政府が負担するのが一般的である。事業主が一部又は全額負担する場合もある。

訓練生の賃金は、熟練工の賃金より低く設定されるが、技術習得に伴い増加し、養成訓練修了時に他の熟練工と同額となる。

職場外での教育の際の訓練生の費用負担は、教材費のみであるが、交通費及び宿泊費を徴収される場合もある。ただし、これらの費用は賃金で十分賄える金額であり、州によっては、補助金や奨学金の援助を受けられる場合もある。

州政府は州法の規定により自らの職権で養成訓練職種の新たな指定ができる。そのため、事業主や労働組合は、新たな職種指定の陳情を行うことが多い。

陳情の結果、州政府が新たな指定を行う場合もあるが、そうでない場合もありうる。州法は、州政府が指定を行わない場合であっても事業主等が自発的(voluntary)に養成訓練協定を結ぶことを認めている。

なお、オンタリオ州では養成訓練生の給与の25～30% (企業規模によって異なる) に対する税額控除を2004年から行っている。対象となる給与は、訓練開始から36か月分、最高1万5,000カナダドルが対象となる。

#### f 利用状況

2002年の養成訓練プログラムの登録者数は、23万4,460人となり過去最高を記録した。対前年比7.8%増であり、7年連続の増加となる。職種別では、建設業、金属加工業、自動車整備、電機設備関連等が多くこれら4職種で全体の8割弱を占める。建設業の伸びが大きいのは住宅建設ブームによる建設業界の好況が一因とカナダ統計局は分析している(表1-62)。

また、2002年の登録養成訓練修了者は、1万6,490人であり、対前年比9.7%と大幅に減少した。職種別では、電気関係が横ばいであったが、他は軒並み減少しており、特に食品サービス業が対前年比25%減、自動車整備業が13.6%減と大きく減少した(表1-63)。

〈表1-62〉 養成訓練プログラム登録者数

	1996		2001		2002	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
建設業	34,080	20.5	43,960	20.2	50,070	21.4
電気設備関連	28,450	17.1	36,640	16.8	39,910	17.0
食品サービス業	16,890	10.1	22,180	10.2	23,370	10.0
工業機械関連	14,300	8.6	17,780	8.2	18,670	8.0
金属加工業	34,000	20.4	47,620	21.9	50,100	21.4
自動車整備業	35,650	21.4	43,940	20.2	46,130	19.7
その他	3,120	1.9	5,450	2.5	6,210	2.6
合計	166,490	100.0	217,560	100.0	234,460	100.0

資料出所 カナダ統計局(Canada Statistics) The Daily Dec 17, 2004 "Registered apprenticeship training"

〈表1-63〉 登録養成訓練修了者数

	1996		2001		2002	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
建設業	34,080	20.5	43,960	20.2	50,070	21.4
電気設備関連	28,450	17.1	36,640	16.8	39,910	17.0
食品サービス業	16,890	10.1	22,180	10.2	23,370	10.0
工業機械関連	14,300	8.6	17,780	8.2	18,670	8.0
金属加工業	34,000	20.4	47,620	21.9	50,100	21.4
自動車整備業	35,650	21.4	43,940	20.2	46,130	19.7
その他	3,120	1.9	5,450	2.5	6,210	2.6
合計	166,490	100.0	217,560	100.0	234,460	100.0

資料出所 カナダ統計局(Canada Statistics) The Daily Dec 17, 2004 "Registered apprenticeship training"

#### g 制度改革等

カナダ政府は、2003年1月より4年間で1,200万カナダドルを投入し、「技能労働産業でのあなたのキャリアの足場作り(SKILLED TRADES : A CAREER YOU CAN BUILD ON)」キャンペーンを実施している。このキャンペーンは、事業主、業界団体、労働組合、教育機関などへ養成訓練及び技能労働産業の実態についての情報提供を行うことにより、技能労働産業への偏見の払拭と養成訓練の機会のさらなる創出を目指すものである。

カナダ養成訓練フォーラム(Canadian Apprenticeship Forum-Forum canadien sur l'apprentissage / CAF-FCA) <sup>(注6)</sup> が2004年8月にまとめた報告書(SKILLED TRADES A CAREER YOU CAN BUILD ON Backgrounder)に、このキャンペーンの背景分析が行われているため、その一部を抄出する。

（「技能労働産業でのあなたのキャリアの足場作り (SKILLED TRADES : A CAREER YOU CAN BUILD ON)」キャンペーンの背景）

カナダの熟練工の平均年齢は48歳<sup>(注7)</sup>と高齢化が進んでおり、今後団塊世代の引退による熟練工の不足が見込まれるため、若年者の育成は急務である。

現在も熟練工の養成訓練は行っているが、養成訓練及び技能労働産業に関する正確な情報が不足しているため、若者、彼らの両親及びスクールカウンセラーが偏見を持っている。

その偏見は、技能労働産業は、きつい肉体労働を伴う、二流で将来性のない産業である<sup>(注8)</sup>といったものである。そのため、技能労働産業でキャリアを形成しようと「考える」13～24歳の若者は26%に留まり、「考えない」とする42%を大きく引き離している<sup>(注9)</sup>。

しかし、実際には、機械化により肉体労働は減少又は軽減化されており、平均賃金も、全学歴平均より高くなっている(表1-70)。

資料出所 CAF-FCA, SKILLED TRADES A CAREER YOU CAN BUILD ON Backgrounder August 2004

〈表1-64〉学歴別平均年収

(カナダドル)

学 歴	平均年収
大 卒 (University)	48,648
技能労働産業従事者	32,743
大 卒 (college)	32,736
全学歴平均	31,757
高 卒	25,477
高卒未満	21,230

資料出所 Statistics Canada, Education indicators in Canada op. cit. Data from the 2001 Census.

- (注1) 財団法人 海外職業訓練協会ホームページ及び在日カナダ大使館ホームページの内容を参考に執筆
- (注2) 人的資源センター(Human Resources Centre)は、カナダにおける公共職業安定所である。
- (注3) YICは、スキル・リンクの前身となる施策のひとつであり、初めて働く者向けの職場体験プログラムであった。
- (注4) YSCは、スキル・リンクの前身となる施策のひとつであり、就職困難者に対し、ボランティア活動により、職業体験を与えることを目的として実施していた。
- (注5) 学生夏季就業活動は、「夏季就業体験」の前身となる施策である。支出の大半は、夏季就業斡旋助成金(SCP)であった。
- (注6) カナダ養成訓練フォーラム(CAF-FCA)は、養成訓練の情報提供などを行っている非営利団体。構成メンバーは、産官学及び労働組合、人権団体などの代表者である。
- (注7) Ken Georgetti, Canadian Labour Congress leader. 'Labour Chief Predicts Skill "Crisis"', The Ottawa Citizen, August 19, 2000
- (注8) CAF-FCA, "Accessing and Completing Apprenticeship Training in Canada PERCEPTIONS OF BARRIERS" A consultation report January 2004 P3
- (注9) CAF-FCA and S/CC survey, A February/March 2004
- (注10) The Conference Board of Canada forecast

5 今後の課題

カナダでは、少子化及びベビーブーム世代の引退などの要因により2020年にはカナダ国内で100万人の労働者が不足すると推測されている。移民の受け入れにより労働力補充はある程度見込めるが、大部分の移民は、トロント、モントリオール、バンクーバーなどの大都市に居住するため、それ以外の地域の労働力不足が解消されない点、言語や文化的な壁がある点が問題点として指摘されている<sup>(注10)</sup>。

特に技能労働産業における熟練工不足が顕著になるにも関わらず、養成訓練修了者数は減っており、2007年まで実施される「技能労働産業でのあなたのキャリアの足場作り」キャンペーンにより、養成訓練及び技能工育成のさらなる推進が期待されている。